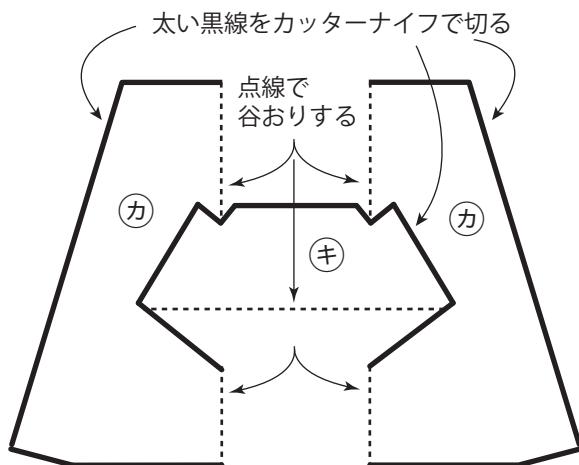


毎日1回まわすことで今日を大切にできます

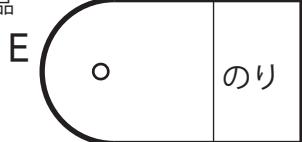
A 裏面

立てるときは、Ⓐの部分を谷おりして直角におこして、次にⒷの部分を谷おりしておこしてⒶが固定するようする。

立てる部分



吊り下げるときにつかう部品
机に立てるときはいらない
組み立てが終わったら
のりをつけてAのⒷの
部分にはる



A 表面

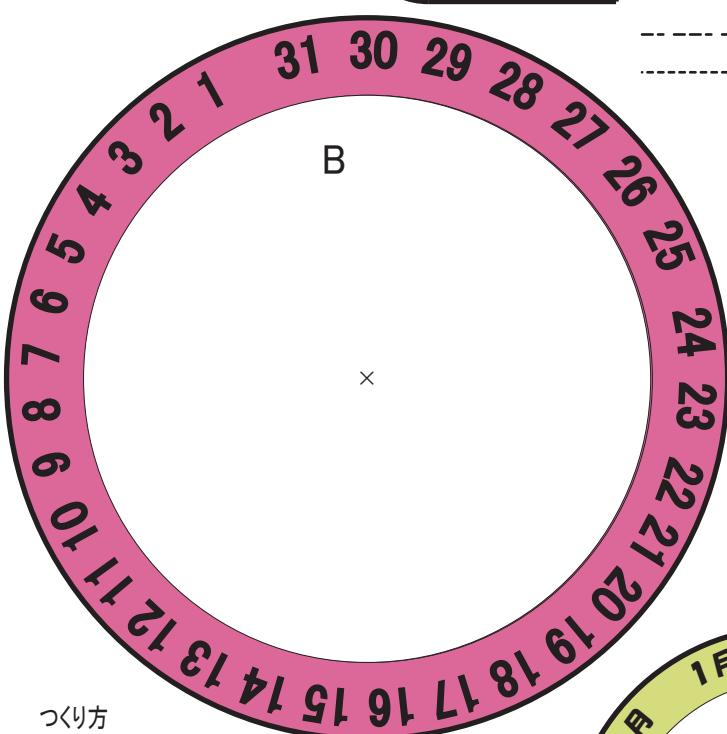
Ⓐ



Ⓑ

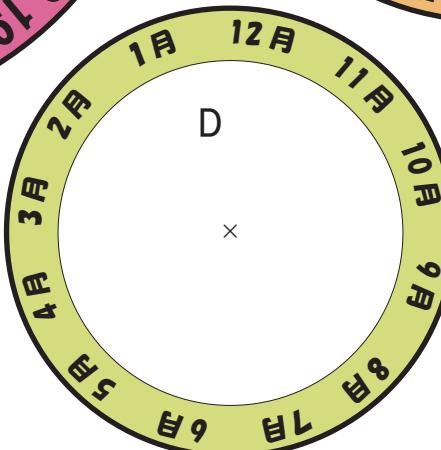
この部分ははしまで使う
印刷すると用紙の
端まで線が印刷されないので
切るときに気をつけてね

----- 山おり
----- 谷おり



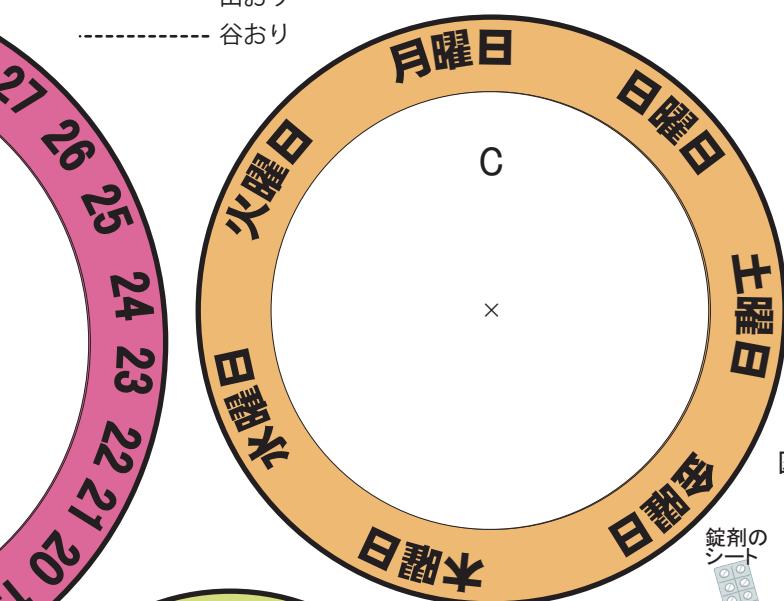
つくり方

- ①A B C Dを切り取る
- ②Aの灰色部分をカッターで切り取る
- ③Ⓐの表面に好きな絵やイラストをかき色をぬる
- ④Aの立てる部分の太い黒線をカッターで切る
点線に折り目のすじをつける
- ⑤Ⓐを半分におり、Aの表 X から裏へ穴をあけておく
B C D の X に穴をあけ A→D→C→B→Aの裏の順で
わりピンにさしていき、Aの裏でわりピンを広げる
- ⑥Aの表面のⒶとⒷの裏にのりをつけ山おりしてつける
- ⑦Aの表のⒷの部分の裏にのりをつけ山おりしてつける
- ⑧立てる部分のおり線で広げて立つようにして完成
※かべに吊り下げるときは⑧をつらずにEを使う



わりピンがないとき
つまようじや竹串を軸に使う

家庭にある身近なものでつくれます。
薄いプラスチックや厚紙（薬を買った
時の錠剤のシート ストロー
紙箱 ダンボール ハガキなど）を
小さく切ったのを2つ作り穴をあける。
1つを図①のようにつまようじに通し、
カレンダー部品 A表→B→C→D→A裏の順に
をつまようじに通す。
最後に図②のようになつめの部品を
つまようじに通して、カレンダーが
回るようにする。
つまようじの余りを切りとる。



Ⓐ表→B→C→D→A裏
錠剤のシート